

2026年度 第2回 藤沢市立高倉中学校 学校運営協議会

2026年7月14日(火) 10:00-

高倉中学校 小会議室

参加：古谷、澤野、伊礼、壬生、林、齋藤、中村、筏井、植田

荒船、安西、猪熊、好川

(敬称略)

次 第

1 開会（古谷会長）

2 学校より（荒船校長）

3 熟議

(1) R9の総合的な学習の時間の柱を作る

総合的な学習の時間は新学習指導要領から「探求」の時間になる予定。今までは調べ学習・体験型の学習など多岐にわたっていたが、一つのテーマを深く掘り下げていく学習に変わっていかねばならない。そのために、柱を作り、整理していく。そのために学校運営協議会として考える「必修の活動は何か」をお聞きしたい。

- ・ 長後地区には今何があるか、変遷としてどんなことがあったのか、この先どう変わっていくだろうか、という不安感が大人にもある。生徒自らが探求していく形で地区の歴史や現在を学ばせたい。
- ・ 食を支えてきた地域だと思うが、今子どもたちの（大人たちの）意識からそのことは遠くなってきている。その変化を見つめる活動をしてほしい。

(2) 地域連携事業「たかまるパン」の企画・販売について

子どもの力で地域を活性化させ、地域が学校を支える。

- ・ 長後製パンが地元にあるというのを生かしたい。従業員も小学校にパンづくりを指導に行くのを楽しみにしている。子どもが考えたものが製品化できるのは良い。
- ・ 長後調べで特産品を調べてくれると良い。地域の歴史にもつながり、帰属意識も出てくる。
- ・ 子どもの起業・経営への関心も芽生える？
- ・ 高校でやっている活動としては、生徒会を中心にデザインを考え、販売にかかるまでは約3ヶ月。全員が関わるとなるとなかなか難しいかも。
- ・ パンのデザイン・包装デザイン・宣伝など役割をわけると全校生徒に広がるのでは？
- ・ 実行委員会形式を立ち上げるのはどうか？
- ・ 保護者にむけて販売？子どもが販売する？PTAが販売する？子どもたちに売る、というのはお金の扱いなど気をつけなければならないことが多い。

例えば

文化祭で保護者向け販売、ポスター・シールなどのデザインは子ども
文化祭あけの週末などで店で販売
祭で子どもが販売ボランティア などができるか？

- ・ 目標をどこにおくか？自分たちの考えたものが製品になるのが目標？デザインさせるのが目標？売るのが目標？はじめは「たかまる」の焼印/シールがついているというような小さなことで良いのでは？
- ・ このようなことでつながりを作っておくと、災害時に生きる。長後製パンで災害用のパンを作れないか？それで缶詰の外側のデザインを子どもがする、とか。
- ・ 大人同士、大人と中学生が繋がっていくとよい。

→急がないで、また次回に次のプランを考えます。

(3) 自治会の加盟が少ない・商店街の加盟が少ないを何とかできないか？

→長後まちおこしプレミアム商品券を発行

→11/8商店街のお祭りで慶応の大学生をリーダーとしてイベントを開催。小中のボランティアを募集。

4 連絡

次回10/22の予定だが前後するかも。すぐーるでお知らせする。